

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.140

メールによる架空請求にご注意!

【事例】

大手通販業者や動画サイト相談窓口から「総合サイト登録履歴があり、未納料金が発生しています。本日連絡なき場合は法的手続きに移行します。」と書かれたメールが届いた。しかし、金額も書かれていないし身に覚えがない…。

これは詐欺の一種です。メールに反応して連絡してきた人を巧妙に誘導し、個人情報聞きだして金銭を支払わせようとする手口です。また、「ギフト券を購入し、カード番号を連絡してほしい」という内容も典型的な詐欺です。決して電話をかけないようにしましょう。無視すれば何も起こりません。

訴訟への移行が予定されている場合は、裁判所から書面で通知が届くのが一般的です。重要事項がメールやはがきで届くことはありません。このようなメールは、相手を脅かし、急ぎ立てて冷静な判断力を失わせようとしています。ご注意ください!

心配だという方は、相手に連絡する前に消費生活センターにご相談ください。

おもてなしコラム 13

西脇市では、平成28年1月に「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を施行。地域食材の魅力について認識を深め、その魅力を広く発信し、本市にさらなるにぎわいの創出を目指しています。

■問合せ 農林振興課(市役所内線323)



あじさい園で手作りのおもてなし

3,000本の色とりどりのアジサイが咲き誇る都麻乃郷あじさい園。その入り口にあるのが「TUMAこいカフェ」。地域の人たちが、いつでも気軽に立ち寄ることができる場として、そして桜やアジサイ、唐子ツバキや紅葉が美しい花の寺「西林寺」を訪れる人たちへのおもてなしの場として、生き生きTUMA協議会のカフェ部が運営しています。

あじさい園の中には、手作りのオープンテラスがあり、それはそれは気持ちのいい場所として好評です。これからの季節はアジサイを眺めながら、モーニングやスタッフ手作りのケーキ・和菓子を味わうのはいかがですか。

明るい笑顔でお待ちしております。ぜひお立ち寄りください。

TUMAこいカフェ 柳田みどり

■営業日：毎週(金)・(土) 午前中
(あじさい園開園中の6/10~7/9は
毎日午前9時~午後3時)



公開練習では試合形式で市民の皆さんとタウンゼント兄弟が交流

西脇市は内閣府から2020東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」登録を受け、現在、オーストラリア卓球チームの事前合宿招致活動に取り組んでいます。先月7日からの3日間、代表候補のウエイド・タウンゼント選手・ケーン・タウンゼント選手が、西村卓二・元卓球女子日本代表監督とともに西脇市を訪れました。西村卓二先生は黒田庄町船町のご出身、福原愛選手などを育て

られた著名な指導者で、招致活動でも大変ご助力をくださっています。今回の視察では、旧来住家住宅や播州織工房館などをご覧いただいたほか、実際の練習会場となる総合市民センターで公開練習も行われました。多くの市民の皆さんにもご支援いただき、一緒に練習をして両選手と交流を深めていただきました。

6月にはオーストラリア卓球協会のピーター・マリOTT会長ら視察第2陣が西脇市を訪れ、夏には事前合宿地が決定されます。ほかにも立候補されている自治体があり、厳しい結果も想定されますが、各種団体とも連携を図りながら、招致実現に向けて西脇市として精一杯のアピールをしてまいります。引き続き市民の皆さんのご協力をお願い申し上げます。

このまちで住んでいることを誇る「西脇市」をともに創っていきましょう。



西脇市長 片山象二

市長からの手紙

西脇を元気に!!

40

豪州卓球代表チームを招致し西脇市の活性化につなげます



しばざくら幼稚園入園式(4月11日)

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

「英語教育」「就学前教育・保育」を充実!

知・徳・体 バランスのとれた子どもを育成します!

教育委員会では、「にしわき学力向上事業」として市内統一学力調査の実施、学習支援補助員や学力向上スーパーティーチャーの配置、学力向上講演会を行っています。平成29年度は、しばざくら幼稚園や市内8認定こども園での就学前教育・保育を充実させるとともに、新たに次の事業にも取り組みます。

①英語検定初回受験料助成
対象Ⅱ中学1~3年生
英語検定3級以上の合格を目標に、年1回英語検定の受験料を助成します。

②GTEC
(英語コミュニケーション能力調査)

●対象Ⅱ中学1年生
英語の「読む・聞く・話す・書く」の4領域を総合的に分析し、英語の指導方法の研究を行います。

③hyperIQU
(学級満足度アンケート)

●中学校1校で試験導入
アンケートを通じて子どもたちの意識調査を行い、落ち着いて学び合う学級づくりの材料とします。また、より良い仲間づくりと学力の向上を目指します。



④幼保連携課の設置
認定こども園、幼稚園の連携を強化するため、「幼保連携課」を設置。しばざくら幼稚園内に幼児教育センターを設置し、就学前教育・保育の充実を図ります。

⑤その他

平成28年度から実施している「表現のプロの技を学ぼう事業」、「いきいき体力づくり推進事業」、「市長ふるさとを語る出前授業」等は、継続して実施していきます。

●問合せⅡ学校教育課
(市役所内線526・527)

心のスケッチ

98

人権教育室コラム

誰もが健康でいきいきと働くには

いま、働き方改革の実現に向けて、違法な時間外労働の規制やワークライフバランスを重視した職場環境の整備等が政府で議論されています。このような改革が進められるようになったのは、未来ある若者が仕事に追われ、自らの手で命を絶った事件が関係しているのではないのでしょうか。同じような過ちを繰り返さないためにも、職場での「メンタルヘルス」について考えてみたいと思います。

厚生労働省が平成27年10月に実施した調査によると、働いている人の約6割が自分の仕事に強いストレスを感じていると答えています。人は一定の緊張感や刺激、負荷を乗り越えることでやりがいを感じるため、ストレスは一概に悪いものではありませんが、両者は紙一重の関係だといえるでしょう。

しかしながら、働く上では、仕事量や人間関係、クレーム対応、さらには失敗や不安、配置転換での不満等、さまざまなストレスに向き合わなければなりません。度を越え

ストレスは、時に心身を壊す原因になってしまいます。そういったストレスと、どのように付き合っていくのか、職場内で考える必要があるのではないのでしょうか。

平成27年12月から、従業員が50人以上いる事業所においてストレスチェック制度が義務化され、事業者はメンタルヘルスの必要性を理解し積極的に推進するようになりました。この制度の導入により、自らの心身の状況を客観的に見ることができるようになり、さまざまなストレスへの対処方法を考えるきっかけになることが大いに期待されています。

ストレスと上手につき合いながら、誰もが気持ちよく働くためには、職場内でのコミュニケーションを大切に、一人ひとりが自他を大切にすることも重要です。一人で問題を抱え込まず、何でも相談できる風通しの良い職場環境が働き方改革の実現につながっていくのではないのでしょうか。

(人権教育室)